※令和４年度以降入学生用

学校番号	218

令和５年度　地理歴史　科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解「歴史総合」　（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の諸課題の背景にある歴史的な知識を身につけてほしい。そのために新しい歴史的な見方・考え方を働かせ、歴史を考察することでより良い未来を築いていく足掛かりにしてほしい。

日本史と世界史を一体として学ぶことによって，人々の考え方，文化の違いについて理解を深め，グローバル社会を生きるための土台を築き，国際社会のなかで物事を相対的に見つめることができるような広い視野を培ってもらいたい。

２　学習の到達目標

・日本史と世界史が密接に関わっていること、日本を含む世界各国が近代化を経てグローバル化に至る過程を、諸資料に基づき地理的条件や環境要因、人間的な動機等と関連付けながら多面的・総合的に理解できるようにする（知識及び技能）

・過去から現代までに継続的に培われてきた文化の多様性・複合性を広い視野から考察し、空間的な歴史的思考力を培うようにする（思考力・判断力・表現力）

・歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究することができるようにする。（学びに向かう力、人間性）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史についての基本的な事柄を地理的条件や環境要因等と包括的に関連付けながら理解し，その知識を身につけている。日本を世界の一部と捉えながら諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。歴史の流れを地図を利用して地理的な観点から判断している。	歴史から課題を見いだし，過去から現代までに継続的に培われてきた文化の多様性・複合性やグローバル世界の特質を多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に考察している。	歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国家・社会を形成する日本国民として、またグローバル化する世界のなかで国際人として主体的に生きる責務を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部　歴史の扉 2部　近代化と私たち	1部－ 1章　歴史と私たち 2章　歴史の特質と資料 2部－ 序章　近代化への問い 1章　江戸時代の日本と結び付く世界 2章　欧米諸国における近代化	a:近代化の過程で各国で起こった出来事などの知識を身に付けている。 c:歴史的な出来事に関心をもち、レポート課題に向けて活用しようとしている。	定期考査 確認テスト		振り返りシート
	2部　近代化と私たち	3章　近代化の進展と国民国家形成 4章　アジア諸国の動揺と日本の開国 5章　近代化が進む日本と東アジア	a:　近代化の過程で、各国で起こった出来事などの知識を身に付けている。 b:「近代化」とは人類に何をもたらしたのかを考察し、自分の意見を述べることができる。 c:既習した内容を踏まえて、「近代化」が世界に与えた影響を評価しようとしている。	確認テスト	レポート	発表 ノート提出
2学期	第3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	序章　国際秩序の変化や大衆化への問い 1章　第一次世界大戦と日本の対応 2章　欧米諸国における近代化	a:　20 世紀前半、二度の世界大戦を経験する各列強国で起こった出来事を国際秩序の変化と結び付けて理解している。 c:　歴史的な出来事に関心をもち、レポート課題に向けて活用しようとしている。	定期考査 確認テスト		振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	3章　日本の行方と第二次世界大戦 4章　再出発する世界と日本	a:20 世紀前半、二度の世界大戦を経験する各列強国で起こった出来事を国際秩序の変化と結び付けて理解している。 b:「国際秩序の変化」における日本及び諸外国の役割を考察し、自分の意見を述べることができる。 c: 既習した内容を踏まえて、複数の国の歴史が互いに関係し合うことに関心をもち、世界大戦が勃発する理由を考察しようとしている。	確認テスト	レポート	発表 ノート提出
3学期	第4部　グローバル化と私たち	序章　グローバル化への問い 1章　冷戦で揺れる世界と日本 2章　多極化する世界 3章　グローバル化のなかの世界と日本	a:20 世紀後半の冷戦構造と冷戦後の国家間の関係性を理解している。 b:冷戦期を経験した世界が、今我々が生きている 21 世紀に何を形成したか、また、これからの展望を考察できる。 c:現代の諸課題に、ここまで既習してきた歴史的な要因を求めて考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査	振り返りシート ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度